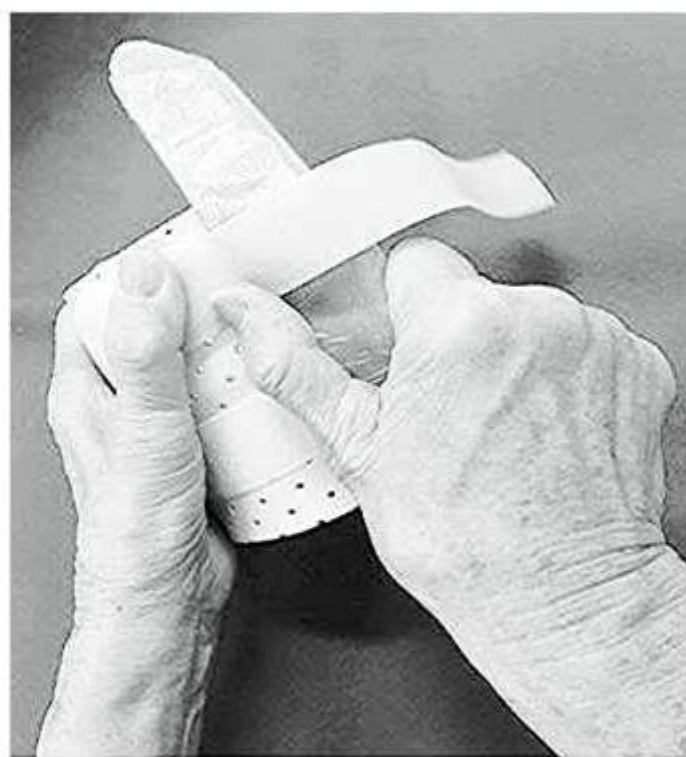


中日病院
だより

リハビリテーション科では、けがや病気で手をおもうように使えなくなつた患者が、早く日常生活の動作を取り戻せるよう、プログラムを工夫します。生活においては普段の動作の全てがお手本。どのような訓練を取り入れるか、創意工夫が試される場面です。

その一つがリンゴの皮むき疑似体験です。普段なら難なくこなせる人が多いですが、患者には大変です。本当のナイフだと危険を伴うので、プラスチック製の疑似ナイフで、リンゴの皮に見立て

④2 日常生活の動作(リハビリ科)



リハビリとして手首や指の機能の回復に有効なリンゴの皮むき疑似体験—中日病院提供

て巻いたマジックテープです。最初はぎこちなくをむくようにはがしていても、慣れるとスムーズになります。手の使い方は実回せませす。単純な動作で実際の皮むきと同じ。安全ですが、指の運動に加え手首や指の機能が獲得できます。手の動きに集中

他にもゴルフボール二個を片手で握り、手のひらと指で規則的に回します。これらの訓練は、

中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。 中日病院 052(961)2491 回復途中でゲームのように楽しみながらでき、日常動作をこなせるという実感も湧いて、前向きな気持ちで取り組めます。 私たちハンドセラピストは、日常生活動作の専門家を目指しています。どのようなリハビリが効果的で、患者が健やかな暮らしを取り戻せるか、日々勉強し、考えています。

(茶木正樹リハビリテーション科長・作業療法士 談)

リンゴ皮むきなど工夫